

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	移住・定住促進事業			事業コード	220106						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち		政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充						
	施策名	1 良質な住宅ストックの形成と移住促進		施策コード	131						
事業担当	所属	02030000 地域振興部 まちづくり推進課		所属長	松井 美幸						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	82・84	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	京都府移住の促進及び移住者等の活躍の推進に関する条例、福知山市移住促進事業補助金交付要綱、空き家情報バンク制度要綱、空き家改修費補助金交付要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	住み続けたい・守り続けたいと思えるような地域づくり。 移住者・移住希望者支援及び受入地域側の意識醸成並びに空き家等の利活用による地域の維持・活性化を図る。										
対象者	移住希望者・移住者受入地域			対象者数	600		単位あたりコスト	97.4			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	(1) 受入地域の意識醸成のための支援(各地域協議会、自治会連合会等との連携、移住促進特別区域指定に関する支援、地域による移住者受入体制構築支援) (2) 農山村地域の活性化及び集落維持を目的とした空き家の利活用促進支援(空き家情報バンク制度運営、改修費補助金等) (3) 移住希望者及び移住者に関する支援・情報発信等(移住促進ウェブサイト運営(地域情報・移住者インタビュー記事作成)、福知山暮らし体感ツアー、オンライン相談等) (4) 京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会負担金(京都府北部7市町協働での情報発信、移住希望者分析など)										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	28,578	空き家情報バンク制度を通じて売買等をした物件の改修費用等の補助事業、テレワーク施設の開設に係る補助事業								
	使用料及び賃借料	1,169	SMOUTの使用料等								
	報酬・職員手当等	1,060	臨時職員の報酬等								
	旅費、需用費及び役務費	1,174	普通旅費、消耗品費、通信運搬費等								
報償費	57	福知山暮らし体感ツアー等への協力に対する先輩移住者等への謝礼									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	34,897	41,142	41,391	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	10,600	0	0	
	③ 繰越予算	△ 7,200	7,200	0	
	前年度繰越	0	7,200	0	
	次年度繰越	△ 7,200	0	0	
小計(①～③)	38,297	48,342	41,391		
予算財源内訳	① 一般財源	15,574	27,771	21,357	
	② 国支出金	3,973	1,053	1,111	
	③ 府支出金	18,750	19,518	18,923	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 114	△ 15,786		
	② 配当予算	38,183	32,556		
	③ 執行額	32,724	32,038		
	④ 執行率	85.7%	98.4%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	3.43 / 1.00	2.99 / 1.00	2.99 / 1.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	29,940	26,420	26,420	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	62,664	58,458	26,420	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	移住・定住促進事業(地方創生推進交付金)	総務費国庫補助金	1,039	16	
	移住・定住促進事業(きょうと地域連携交付金)	総務費府補助金	3,444	24	
	移住・定住促進事業(京都府農業振興事業費補助金)	総務費府補助金	6,238	24	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		制度利用による定住者数	人	31 / 20	37 / 20	71 / 20	/ 40
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	新規移住希望者名簿登録数	件	90 / 100	274 / 100	384 / 100	/ 100	100
	単位あたりコスト		233.2	119.4	83.4		
	HP閲覧回数	回	32419 / 10000	73203 / 10000	92065 / 10000	/ 100000	100000
	単位あたりコスト		0.6	0.4	0.3		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 移住促進ウェブサイト、SMOUT、SNSでの情報発信に取り組んだ結果、移住希望者名簿登録者数の増加(過去最多)につながった。 過疎高齢化、少子化など人口減少に伴う地域活力低下という課題への対応策として、地域住民の関心やニーズは高い。 地域づくり組織や自治会と連携しながら、移住者の住まいとなる空き家の掘起しや地域による移住(希望)者支援のための体制づくり支援に取り組んでいる。 また、コロナ禍において、地方移住への関心が高まっており、社会的なニーズの高い事業でもある。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 補助制度のあり方、適用範囲など空き家情報バンク制度の運用方法は近隣市の状況、利用者のニーズも参考にしつつ、予算化を行い、補助金事務を行った。 空き家情報バンクの登録物件数不足の解消と優良物件の確保が重要である。 空き家情報バンク制度の登録物件の掘起しについては、市が市民等に向けて広く制度の周知を行い、各地域において地域づくり組織や自治会が地道に登録促進を行い、登録に結びつけている。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家情報バンクの運営、福知山暮らし体感ツアー、オンラインでの移住相談を通じて、移住希望者の支援を行い、本市への移住につなげることができた。 移住促進ウェブサイト、SNS、SMOUTを通じて本市への移住希望者に情報を発信しつつ、定期的に情報発信の内容について効果測定を行い、移住希望者のニーズに沿った情報を発信するため改善を行った。 移住希望者と地域のミスマッチを防ぐため、事前に自治会長等から地域の説明を聞く機会を設けるとともに、移住後のフォローとしては、地域づくり組織が移住者交流会を開催するなど、行政と地域が連携して移住者の受入を行った。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 本市の移住促進ウェブサイトやSNSなどによる情報発信、各種支援制度の構築などの過去の積み重ねに加え、コロナ禍による地方移住志向の高まりも手伝って、空き家バンク制度の利用希望者数及び成約実績(移住実績)が過去最多記録を更新した。(令和3年度 27世帯71人) 移住促進特別区域を中心に、地域づくり組織等において、移住者交流会の開催や空き家物件の登録促進が行われており、移住者の受入に対し意識は年々上がっている。今後も地域づくり組織や自治会など受入地域と連携し事業を進めていく。 ターゲットを明確にし、SMOUTやSNS、メディアアプローチなどを通じて本市の取組をPRすることで移住促進ウェブサイトへの流入を促すよう工夫することにより、閲覧数は堅調に増加している。 今後の課題としては、本市への定住を最終目的としつつ、コロナ禍で顕在化した「テレワーク」や「二地域居住(都市部と地方に生活拠点を持つライフスタイル)」にも柔軟に対応していく必要がある。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 社会的ニーズの変化を的確にとらえ、定住支援を基礎とし、コロナ禍で顕在した地方でのテレワーク需要や「二地域居住」も支援対象としていく。 30～40代の移住者が増加傾向にあり、この傾向が継続するものとして、移住促進ウェブサイト、SNS、SMOUTにおいて、子育てや就職イベント等のニーズにあった情報を発信していく。 旧3町を中心に人口減少が深刻化しており、令和4年度は大江全域を移住促進特別区域の指定に向けて申出を行うことで、旧3町の移住の取組を一層進めていく必要がある。 空き家情報バンクの登録物件数が需要に対し大幅に不足している。市としても本制度がもっと身近になるように啓発活動を行い、空家サポートセンター、地域づくり組織、自治会と連携して空き家の掘起しにつながる活動を側面支援していく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	菟原下定住促進住宅用地販売促進事業				事業コード	510457						
政策体系	基本政策	1 市民一人一人が、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充						
	施策名	1 良質な住宅ストックの形成と移住促進			施策コード	131						
事業担当	所属	02080000 地域振興部三和支所			所属長	井上浩人						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算付属資料	86	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市定住促進住宅用地分譲要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	平成12年6月に買い取った大松機業の工場等の老朽化に伴い、部材が周囲に飛散するなど危険な状態になっていた。平成26年度から28年度にかけ、既存建物の解体撤去を行い、跡地は定住促進住宅用地として分譲し、地域活性化を図る。											
対象者	市内外の住民			対象者数	80,000		単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・5区画の造成をおこなった。 ・令和元年度に2区画を売却した。 ・販売チラシをTOWNTOWN広告(令和4年1月15日号)に掲載、月刊パレット北京都広告(令和4年3月号)に掲載し、販売促進を図った。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	役員費	176		新聞、雑誌広告代								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	421	421	414	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	421	421	414						
予算財源内訳	① 一般財源	421	421	414					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	△ 140						
	② 配当予算	421	281						
	③ 執行額	334	176						
	④ 執行率	79.3%	62.6%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.15 / 0.00	0.20 / 0.00	0.20 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,200	1,600	1,600	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,534	1,776	1,600	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	分譲地の売却	区画	2 / 5	2 / 5	2 / 5	5	5
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	PR活動の実施件数	件	5 / 5	5 / 5	2 / 4	5	5
	単位あたりコスト				88.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 旧三和町が平成12年6月に買い取った工場跡用地を地元の要望及び地域の課題解決に有効に活用するため定住促進住宅用地として販売する。 販売チラシやポスターの作製・掲示・配布、広告掲載を行うなど販売促進のためのPRを行う。 	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 比較的手頃な価格で住宅地を提供することにより、市有地の有効活用と過疎など地域の課題に有効な事業であり、適切な投資である。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> TOWNTOWN広告掲載料金(令和4年1月15日号) 縦13.2cm×横18.0cm カラー 地元から定住に結びつく整備の要望があり、跡地を整備し、三和地域の定住促進住宅用地として、分譲することにより人口の減少を緩和し地域活力の維持・向上に資する。 広告等をより効果的なものとするため、市の特別顧問のクリエイティブディレクター佐藤舞葉さんに相談を行いPR方法を検討した。(令和3年12月17日) 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	分譲価格も下記のとおり、安価(198万円～253万円)なうえ、下水道負担金50万円も含まれているため、購入価格では大きなメリットがある。静かな環境での子育てに適しているという点もメリットである。しかし、分譲地の用地が全て売買ができていない課題がある。 ・1号地 297.47㎡ 2,355,000円 R01.10 売却済 ・2号地 234.75㎡ 1,979,000円 ・3号地 332.11㎡ 2,529,000円 ・4号地 319.24㎡ 2,470,000円 R02.04 売却済 ・5号地 287.80㎡ 2,043,000円		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 定住促進に向けた用地販売を行うため、市内外(長田野工業団地アネックス京都三和や都市部での移住フェア)に向けた広報等の情報発信を継続して実施する。 マッチングサイトSMOUTなどのアプリケーションの活用や、工務店や不動産業者への周知など、様々なPR方法により販売促進を図る。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	お試し住宅管理事業(三和地域)				事業コード	530164						
政策体系	基本政策	1 市民一人一人が、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充						
	施策名	1 良質な住宅ストックの形成と移住促進			施策コード	131						
事業担当	所属	02080000 地域振興部三和支所			所属長	井上浩人						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算付属資料	88	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市外から福知山市へ移住を希望している人が一定期間本市の気候、風土及び生活を体験できる施設として、市営みわ上川合住宅(二戸一棟)をお試し住宅として整備し、移住・定住の促進につなげることを目的とする。											
対象者	市内外の住民			対象者数	80,000		単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	市営みわ上川合住宅(二戸一棟)の修繕や備品購入等を行い、移住希望者の受け入れ態勢を整える。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	役員費	108	ハウスクリーニング代									
	使用料及び賃借料	39	有線テレビ(光回線)利用料									
	需用費	32	電気代・水道代、みわ上川合お試し住宅玄関扉修繕(2号棟)									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	390	306	290	予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0	0	0						
	③ 繰越予算	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0						
	次年度繰越	0	0	0						
小計(①～③)	390	306	290							
予算財源内訳	① 一般財源	240	156	140						
	② 国支出金	0	0	0						
	③ 府支出金	0	0	0						
	④ 地方債	0	0	0						
	⑤ その他特財	150	150	150						
決算情報	① 流充用額	0	0							
	② 配当予算	390	306							
	③ 執行額	130	179							
	④ 執行率	33.3%	58.5%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.13 / 0.00	0.13 / 0.00	0.13 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	1,040	1,040	1,040	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,170	1,219	1,040	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	お試し住宅使用料(三和支所)		種類	総務使用料	実績金額	105	決算付属資料	8	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	管理戸数	戸	2 / 2	2 / 2	2 / 2	2 / 2	2
入居戸数	戸	2 / 2	2 / 2	2 / 2	2 / 2	2	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	修繕箇所	か所	2 / 2	0 / 2	2 / 2	2 / 2	2
	単位あたりコスト		23.4		89.5		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	市外の移住希望者に対し、短期間であるが地域に居住してもらうことで、地域の魅力を認識していただき、移住・定住につなげていくための支援策として必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	利用が低かった市営住宅の有効活用につながっている。使用料を徴収し対応している。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	一定期間居住することで、三和地域・福知山の魅力を感じていただき、定住につながっている。移住者の定住につなげていくことで、地域活力の向上につながる。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度からの事業開始後、入居者が途切れることなく、応募者多数で入居選定を行っている。地元の受入れ態勢が手厚く、退居後も三和地域への移住につながっている。移住率は約80%と高い。 退去後、移住希望があるにもかかわらず、空き家への入居などとのマッチングがまとまらないケースもある。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 定住につながっていくよう、地域のくらしに関する情報提供など支援を行う。 空家バンク制度と連携し、退去後の住居探しを支援する。 三和地域協議会と連携し、移住者交流会などを活用し、地域の魅力をアピールする。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	鬼の里Uターンプラザ1・2管理運営事業			事業コード	530101						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち		政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充						
	施策名	1 良質な住宅ストックの形成と移住促進		施策コード	131						
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所		所属長	神内 明宏						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	86・88	頁
計画期間	開始年度	平成7年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	鬼の里Uターンプラザ条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	お試し住宅管理事業(大江地域)、定住促進住宅管理運営事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市への移住定住希望者の確実な定住を目的として、一定期間お試し的に生活をしてもらうための施設を定住インストラクターを配置し、管理運営を行う。										
対象者	福知山市への移住定住希望者			対象者数	40		単位あたりコスト	179.7			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	(株)丹新ビルサービス										
事業概要 (箇条書き)	鬼の里Uターンプラザ1(公庄地内)10室及び同プラザ2(波美地内)30室の維持管理を行う経費										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	報酬	21		委員報酬(Uターンプラザ運営委員報酬)							
	需用費	1,108		消耗品費(管理用資材) 燃料費(混合油) 光熱水費(電気料、上下水道料) 修繕料(トイレ修繕等)							
	役務費	461		手数料(室内クリーニング等) 保険料(建物共済分担金) 電話料金							
	委託料	22		維持管理業務(消防設備点検業務委託料)							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,509	1,533	1,636	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	1,509	1,533	1,636						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	1,509	1,533	1,636					
決算情報	① 流充用額	△ 201	88						
	② 配当予算	1,308	1,621						
	③ 執行額	1,296	1,612						
	④ 執行率	99.1%	99.4%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.37 / 0.95	0.40 / 0.95	0.40 / 0.95	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	5,335	5,575	5,575	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,631	7,187	5,575	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	鬼の里Uターンプラザ使用料(現年度分)	種類	総務使用料	実績金額	1,590	決算付属資料	8	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	入居戸数	戸	19 / 40	13 / 40	19 / 40	/ 40	40
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	ハウスクリーニング実施戸数	戸	2 / 8	4 / 8	7 / 8	/ 8	8
	単位あたりコスト		701.1	324.0	230.3		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化が進む大江地域において、若者定住等の定住施策は最優先課題であり、コロナ禍により地方への移住希望者が増加する現状を踏まえ、移住定住の入り口となる当施設のPRをホームページ等で行った。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 新規入所時には業者によるハウスクリーニングを実施しているが、状態が良い部屋については定住インストラクターと連携して直接清掃を行った。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度において、鬼の里Uターンプラザ1で2件の入所、3件の退所があった。また、鬼の里Uターンプラザ2においては、5件の入所があり確実に入所戸数が増加している。 移住定住希望者を停滞することなく受け入れるため、定住インストラクターと連携して施設や空室の管理を行い、良好な状態を維持している。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>若者定住施設である鬼の里Uターンプラザにおいて、大江地域への定住という当初の目的を十分に達成しているとは言い難い面もあるが、平成7年建築及び平成14年建築と経年劣化の進む当施設において、一定の入所率を維持し、更に近年のように入所者が増加している現状は当事業が有効に機能しているためであると考えている。今後も移住定住希望者は増加傾向にあると考えるため、入所可能戸数を予算を考慮しながら増やしていく必要がある。</p>		
改善策	<p>近年、空室が目立つ当施設において、入所者の増加を課題としてPR等の取り組みをしてきたが、今後においては従来の取り組みと並行して、セミナー等により入所者に地域の魅力や空き家バンクの情報、移住特区の制度等を浸透させ、当初の目的である大江地域への定住を促す。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	定住促進住宅管理運営事業			事業コード	530103						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち		政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充						
	施策名	1 良質な住宅ストックの形成と移住促進		施策コード	131						
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所		所属長	神内 明宏						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	88	頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市大江町定住促進住宅条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	鬼の里Uターンプラザ1・2管理運営事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市への移住定住希望者の居住の用に供する住宅の管理運営を行い、移住定住の促進と地域活力の増進を図る。										
対象者	福知山市への移住定住希望者			対象者数	30		単位あたりコスト	91.2			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	(株)丹新ビルサービス										
事業概要 (箇条書き)	鬼の里定住促進団地(二俣地内)30室の維持管理を行う経費										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	需用費	73	修繕料(サッシガラス修繕、洗面化粧台修繕 他)								
	役員費	91	手数料(室内クリーニング等) 保険料(建物共済分担金)								
	委託料	11	維持管理業務(消防設備点検業務委託料)								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	311	312	271	予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
小計(①～③)	311	312	271					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0				
	⑤ その他特財	311	312	271				
決算情報	① 流充用額	42	△ 109					
	② 配当予算	353	203					
	③ 執行額	353	175					
	④ 執行率	100.0%	86.2%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.32 / 0.00	0.32 / 0.00	0.32 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	2,560	2,560	2,560	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,913	2,735	2,560	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	定住促進住宅使用料(現年度分)	種類	総務使用料	実績金額	150	8	頁
		住宅退去に係る修繕料		雑入		25	48	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	入居戸数	戸	19 / 30	19 / 30	18 / 30	/ 30	30
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	ハウスクリーニング実施戸数	戸	4 / 4	2 / 4	1 / 4	/ 4	4
	単位あたりコスト		89.0	176.5	175.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化が進む大江地域において、若者定住等の定住施策は最優先課題であり、コロナ禍により地方への移住希望者が増加する現状を踏まえ、移住定住の入り口となる当施設のPRをホームページ等で行った。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 新規入所時には業者によるハウスクリーニングを実施しているが、状態が良い部屋については直接清掃を行った。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は2件の退所で入所実績は無かったが、まちづくり推進課の体験ツアーに係り内覧会を実施した。 移住定住希望者を停滞することなく受け入れるため、自治会(美鈴新区)と連携して施設や空室の管理を行い、良好な状態を維持している。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	少子高齢化が進む大江地域の中でも、とりわけ高齢化率が高い河守上地区の活性化を目的とした鬼の里定住促進団地で「美鈴新自治会」という一つの自治会を形成している。 入所状況を鑑みると目的を十分に達成しているとは言えない面もあるが、当施設が一定の入所率を維持している現状は当事業が有効に機能しているためであると考えている。 今後も移住定住希望者は増加傾向にあると考えるため、入所可能戸数を予算を考慮しながら増やしていく必要がある。		
改善策	施設を良好に維持しつつ、当施設のPRをホームページ等で市内外に向けておこない入所希望者の増加を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	お試し住宅管理事業(大江地域)			事業コード	530104						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち		政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充						
	施策名	1 良質な住宅ストックの形成と移住促進		施策コード	131						
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所		所属長	神内 明宏						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	88	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市お試し住宅条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	鬼の里Uターンプラザ1・2管理運営事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市への移住定住希望者の定住を目的として、一定期間お試し的に生活をしてもらうための施設を定住インストラクターを配置し、管理を行う。										
対象者	福知山市への移住定住希望者			対象者数	4		単位あたりコスト	213.0			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	鬼の里Uターンプラザ1(公庄地内)の2階部5室をお試し住宅として維持管理を行う経費										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	需用費	118	修繕料(トイレ修繕等)								
	役員費	49	手数料(室内クリーニング)								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	551	101	151	予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0	0	0						
	③ 繰越予算	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0						
	次年度繰越	0	0	0						
小計(①~③)	551	101	151							
予算財源内訳	① 一般財源	445	0	0						
	② 国支出金	0	0	0						
	③ 府支出金	0	0	0						
	④ 地方債	0	0	0						
	⑤ その他特財	106	101	151						
決算情報	① 流充用額	150	67							
	② 配当予算	701	168							
	③ 執行額	607	167							
	④ 執行率	86.6%	99.4%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.06 / 0.05	0.07 / 0.05	0.07 / 0.05	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	605	685	685	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,212	852	685	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	お試し住宅使用料(大江支所)		種類	総務使用料	実績金額	167	決算付属資料	8	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	入居戸数	戸	4 / 4	4 / 4	2 / 4	/ 4	4
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	ハウスクリーニング実施戸数	戸	0 / 4	2 / 4	1 / 4	/ 4	4
	単位あたりコスト		0.0	303.5	167.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により地方への移住希望者が増加する現状を踏まえ、移住定住の入り口となる当施設のPRをホームページ等で行った。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 新規入所時には業者によるハウスクリーニングを実施しているが、状態が良い部屋については定住インストラクターと連携して直接清掃を行った。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は、4件の入所があり3件が退所された。 まちづくり推進課の所管で入所募集を行っているが、常に応募がある。 移住定住希望者を停滞することなく受け入れるため、定住インストラクターと連携して施設や空室の管理を行い、良好な状態を維持している。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	福知山市への移住定住希望者の定住を目的として、一定期間お試し的に生活をしてもらうための施設であるが、本年度退所3件の内2件は福知山市内への転居ということで、一定の成果があったと認識している。 入居年限が最大で1年間ということで、Uターンプラザと比較しても「お試し」感が強く、いかに短期間で地域の魅力を発信していけるかが課題である。		
改善策	当施設はお試的に気軽な入所をコンセプトとしているためか、退所後に元に戻られるケースが多い。 セミナーを開催し、入所者に地域の魅力や空き家バンクの情報、移住特区の制度等を浸透させ、当初の目的である大江地域への定住を促す。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	石原土地区画整理事業特別会計繰出金			事業コード	510303						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち		政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充						
	施策名	1 良質な住宅ストックの形成と移住促進		施策コード	131						
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課		所属長	蘆田 祐幸						
会計情報	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	02 土地区画整理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	194	頁
計画期間	開始年度	平成4年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	石原土地区画整理事業変更計画(第7回)		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)										
関連事業	石原土地区画整理事業特別会計各事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	計画的な都市基盤整備を図ることで良好な住宅地の形成及び魅力ある市街地環境づくりに大きく寄与するための、石原土地区画整理事業特別会計に対する繰出金										
対象者	-			対象者数	-			単位あたりコスト			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	石原土地区画整理事業一般保留地の価格改定に伴う繰出金										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	繰出金	81,159		石原土地区画整理事業特別会計への繰出金							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0	0	0	予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0	81,160	0						
	③ 繰越予算	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0						
	次年度繰越	0	0	0						
小計(①～③)	0	81,160	0							
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0						
	② 国支出金	0	0	0						
	③ 府支出金	0	0	0						
	④ 地方債	0	0	0						
	⑤ その他特財	0	81,160	0						
決算情報	① 流充用額	0	0							
	② 配当予算	0	81,160							
	③ 執行額	0	81,159							
	④ 執行率	0.0%	100.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.01 / 0.00	0.01 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	0	80	80	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	81,239	80	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	石原土地区画整理事業基金繰入		種類	基金繰入金	実績金額	81,159	決算付属資料	42	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		【定性的評価のため入力なし】					
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	繰出金決算額	百万円	/	/	81.2 / 81.2	/ -	
	単位あたりコスト				-		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	石原土地区画整理事業の安定的な運営を図るうえで必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	特別会計に繰出をすることにより、石原土地区画整理事業の安定的な運営を図ることができた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	石原土地区画整理事業の安定的な運営の一助となっている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	特別会計に繰出をすることにより、石原土地区画整理事業の円滑な運営を図ることができた。【定性的評価】今後も適正に繰出を実施する必要がある。		
改善策	担当課との十分な調整を行い、適正な繰出金額の精査に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	非農用地造成事業			事業コード	530106						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち		政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充						
	施策名	1 良質な住宅ストックの形成と移住促進		施策コード	131						
事業担当	所属	25010000 産業政策部 農政課		所属長	小西 晴之						
会計情報	款	01 事業費	項	01 宅地造成費	目	01 宅地造成事業費	会計	07 宅地造成	決算付属資料	274	頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名	戸田地区計画		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	戸田地区非農用地造成事業 宅地分譲に関する要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	国土交通省が実施する由良川築堤事業による対象家屋の集団移転の移転先を、市が実施したほ場整備区域内の既存集落隣接地に確保・造成し分譲するもので、地区計画によりゆとりと潤いのある低層住宅地の形成を図る。										
対象者	市民	対象者数	76,037	単位あたりコスト	0.3						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	畿北冷熱(株)、戸田自治会、藤井不動産鑑定(株) ほか										
事業概要 (箇条書き)	○雨水排水ポンプの保守点検業務を実施し、適切な維持管理を行った。 ○戸田分譲地の除草業務を2回/年(7月・9月)実施した。 ○令和3年6月より不動産ポータルサイト(SUUMO)に分譲地の掲載を行った。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	補償、補填及び賠償金	20,122	前年度繰上充入金(前年度歳入歳出不足額の補填)								
	需用費	476	戸田地区雨水排水ポンプ場電気代、戸田地区分譲地看板の購入 ほか								
	役務費	323	不動産ポータルサイト(SUUMO)情報掲載、郵送料								
	工事請負費	257	植栽帯整備工事								
	委託料、報償費	448	委託料242、報償費206								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	25,100	23,900	25,300	予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
小計(①～③)	25,100	23,900	25,300					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0				
	⑤ その他特財	25,100	23,900	25,300				
決算情報	① 流充用額	0	0					
	② 配当予算	25,100	23,900					
	③ 執行額	20,924	21,627					
	④ 執行率	83.4%	90.5%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.43 / 0.00	0.55 / 0.00	0.55 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	3,440	4,400	4,400	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	24,364	26,027	4,400	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	土地貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	498	272	頁
		電柱類設置貸付収入		財産貸付収入		11	272	決算付属資料

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	分譲地販売数	区画	0 / 2	0 / 2	0 / 2	/ 2	10
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	インターネット広告掲載数(R3～)	筆	0 / 0	0 / 0	7 / 10	/ 10	10
	単位あたりコスト		0.0	0.0	3089.6		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 分譲地と雨水対策機能をもつ調整池の適切な管理及び景観維持のため、地元自治会に除草業務を委託した。 戸田地区雨水排水ポンプ場の点検等を実施し、浸水被害対策に備えた。 不動産ポータルサイト(SUUMO)等を活用し広くPRする等、戸田地域への移住・定住対策を行った。 	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 戸田地区雨水排水ポンプ場設備の維持管理業務において、複数の業者から見積を徴取し、コストの削減を図った。 	<input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 不動産ポータルサイト(SUUMO)に掲載するまで分譲地について問合せがなかったが、掲載開始から約1年間で7件の問合せがあった。 雨水排水ポンプ場の保守点検(1回/年)及び大雨時の巡回点検(2回程度/年)を実施することにより、戸田地区の浸水被害対策に備えた。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 戸田地区雨水排水ポンプ場の維持管理業務を実施することで、浸水被害対策を図った。 不動産ポータルサイト(SUUMO)への分譲地の情報掲載や分譲地に立て看板を設置することで、販売促進を図った。 令和3年度から不動産ポータルサイト(SUUMO)に分譲地の情報掲載を開始し、問い合わせはあるものの成約に至らなかった。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 多くの情報誌等に掲載し、積極的に広報活動を行うとともに、関係課と協力し今後の販売方法について検討を行い販売を促進する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	石原土地区画整理事業			事業コード	510352						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち		政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充						
	施策名	1 良質な住宅ストックの形成と移住促進		施策コード	131						
事業担当	所属	35050000 建設交通部 都市・交通課		所属長	芦田 裕人						
会計情報	款	01 石原土地区画整理事業	項	01 事業費	目	01 事業費	会計	13 石原区画	決算付属資料	298	頁
計画期間	開始年度	平成4年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	石原土地区画整理事業変更計画(第7回)		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	土地区画整理法 ほか										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	鉄道網整備及び都市計画事業基金積立事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	計画的な都市基盤整備を図ることで、良好な住宅地の形成及び魅力ある市街地環境づくりに大きく寄与する。残保留地の処分を促進することで、石原土地区画整理事業の早期閉鎖を目指す。										
対象者	石原土地区画整理事業地内市民			対象者数	2,308		単位あたりコスト	201.7			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	公益社団法人シルバー人材センター、㈱リクルート ほか										
事業概要 (箇条書き)	石原土地区画整理事業地内保留地の維持管理及び販売促進にかかる経費 ・保留地の除草等維持管理業務の実施 ・保留地の価格改定 ・保留地の販売促進のための広告宣伝(両丹新聞・SUUMO等)										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	需用費	176	保留地看板購入ほか								
	役務費	604	不動産ポータルサイト掲載費用ほか								
	委託料	3,111	除草業務ほか								
	補償、補填及び賠償金	459,070	前年度繰上充用金								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	494,300	478,000	395,000	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	494,300	478,000	395,000						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	494,300	478,000	395,000					
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	494,300	478,000						
	③ 執行額	468,253	462,961						
	④ 執行率	94.7%	96.9%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.35 / 0.00	0.33 / 0.00	0.33 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,800	2,640	2,640	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	471,053	465,601	2,640	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	一般会計繰入金	種類	他会計繰入金	実績金額	81,159	決算付属資料	295	頁
		保留地処分金		土地売却収入		31,597		295	
		保留地一時使用料		保留地使用料		659		295	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	目標人口	人	2,188 / 4,000	2,248 / 4,000	2,308 / 4,000	/ 4,000	4,000
	事業進捗率(事業費ベース)	%	99.7 / 100	99.7 / 100	99.8 / 100	/ 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	残保留地面積	m ²	14,064 / 38,833	13,766 / 38,833	13,224 / 38,833	/ 38,833	0
	単位あたりコスト		34	34	35		
	インターネット公売	回	1 / 1	1 / 1	0 / 1	/ 0	0
	単位あたりコスト		480,871	468,253			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>保留地の早期売却と特別会計の早期閉鎖については政策提言を受けており、保留地の価格改定と不動産ポータルサイトの利用によりその促進を図った。販売促進方法については、不動産ポータルサイトによる広告を利用することで、取引意思が比較的高く、ニーズの高い層に限定してアピールすることができ、目標達成に向けて事業を進捗させることができた。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>価格改定に伴い保留地設置看板を新たに作成しており、価格競争によりコスト削減を図ることができた。また、不動産ポータルサイトへの情報掲載は、非農用地造成事業と併せて行うことで、1筆あたりの掲載料を抑えることができた。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>残保留地の売却に向け、不動産ポータルサイトへの情報掲載を行うことで、従来よりも多くの方に保留地の情報を提供したほか、保留地の価格改定等の影響から、令和3年度においては3筆の売却に成功した。また、実際に不動産業者や公民連携促進会議による金融機関等からの市場分析結果を含めた指摘をいただき、有効的に保留地の販売を進めることができた。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>保留地の維持管理を行うとともに、販売促進のため不動産ポータルサイトへの登録を行い、保留地の売却に努めた。特に令和3年度においては、令和2年度に実施した不動産鑑定評価書をもとに価格改定を行い、保留地の売却を促進することができた。また、令和3年度より不動産ポータルサイトに継続して情報掲載することから、インターネット公売は実施しないこととした。不動産ポータルサイトへの情報掲載により、昨年度以前に比べてより多くの方の目に留まるようにはなったが、保留地販売が劇的に進んだとは言えないことから、更なる販売方法にかかる工夫・方針転換を行う必要がある。</p>		
改善策	<p>残保留地の過半数を占める大区画(計34筆)についての販売方法を再検討する。特に、大区画の分割案について不動産鑑定士等と協議を行い、その是非について検討していく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--